

1 学校教育目標 未来を切り開くたくましさを持つ児童の育成	2 本年度の重点目標 ① 確かな学力向上, 学習状況の改善を図る。 ② 豊かな心を育む教育の推進と心身の健康の促進を図る。 ③ 児童に寄り添った生活指導や教育相談を充実する。 ④ ふるさとを愛する教育「津の里学」を推進する。
---	---

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①規範意識の高い子どもの育成をする。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○教職員の資質向上	教職員の意欲と資質の向上	・全職員1回以上, 教育センター, 研究発表会等で研修をする。研修したことを共有化する。 ・教育指導方針をもとに各専門部で協力して組織的に取り組む。	・教職員のニーズに応じた研修を推進し, 研究発表会等の紹介を行い, 活用する。 ・講師を招聘し, 校内研修の充実を図る。 ・各部会や推進委員会を月1回行い, 課題の改善に向けた取り組みを行う。
	○魅力ある学校づくりの推進	地域連携の促進	・地域子ども支援ネットワークを活用する。 ・教育活動に地域人材を50人以上, 授業時間数80時間程度, 活用する。	・地域子ども支援ネットワークを全学年で利用し, 地域人材を発掘する。 ・地域人材の効果的活用を各学年の教育活動に位置付ける。 ・ホームページや学校, 学級便り等で情報発信をする。 ・牛津公民館や地域行事等に積極的に参加する。

②学力向上, 学習状況の改善を図る。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	基礎基本の定着と活用力の向上	・授業研究会等を通して校内研究の充実を図る。 ・県学習状況調査等で県平均を上回る。	・全学年で講師招聘による授業研究会を行う。 ・学習のしつけを徹底する。 ・児童の実態に応じたT・Tの活用と, 相互学習の充実を図る。 ・週2回のキラキラタイム(国語・算数)を実施する。 ・家庭学習の充実と保護者への啓発を行う。
	●ICT利活用教育の推進	ICT利活用教育の向上	・ICT利活用教育に関する研修会を年2回以上持つ。 ・ICT利活用をした授業を日常的に行う。	・夏季休業中にICT利活用に関する校内研修会を開催する。 ・夏季休業中に情報モラルに関する校内研修会を開催する。
	○読書の推進	図書館教育の推進	・読書習慣の定着と向上を図り, 低学年は一人150冊以上, 中学年は一人100冊以上, 高学年は一人50冊以上, を目標とする。	・朝の読書タイムを週1回実施し教師も一緒に取り組む。 ・読み聞かせボランティアを活用する。 ・図書館祭りを実施する。 ・つぼみ文庫を活用し, 読書の質を上げる。

③よりよい生活の在り方, 自らの生き方を支援する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○危機管理体制の整備	安全で安心な学校づくり	・危機管理意識の向上と迅速な対応の実践力を身につける。 ・生活指導を徹底し, 自分で危険を回避できる児童を育成する。	・毎月, 安全点検を実施し, 迅速に対応する。 ・危機管理マニュアルを活用する。 ・各避難訓練を通して, 避難方法・避難経路について理解させる。 ・具体事例を挙げて全校放送を行い, 各学級でも指導を繰り返すことで徹底を図る。 ・ヘルメット着用の定着を図る。
	●心の教育	道徳教育や体験活動による豊かな心の育成	・ふれあい道徳の授業公開を実施する。 ・計画的に体験活動を学習に取り入れる。 ・時間を守り自分や人とのつながりを大切にする子どもを育てる。	・ふれあい道徳授業を計画的に実施する。 ・各学年で体験活動を年間計画に位置付ける。

教育活動	●いじめの問題への対応	相手を尊重し、認め合う仲間づくりの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見を全職員で取り組む。 いじめへの対応体制の確立する。 学級経営における支持的風土づくりに取り組む。 いじめをなくす意識を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> 心のアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見につなげる。 児童連絡協議会を毎月開催し、児童理解や対応の共通理解を図り組織で対応する。 Q-Uテストを年2回実施し、よりよい学級づくりの対策を講じる。 児童による「いじめ0宣言(仮称)」の取り組みを行う。 「なかよしの木」や「人権集会」を開催することで、人権意識の向上と充実を図る。
	○人権・同和教育	人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 一人1回以上、人権・同和研修に参加する。 月1回の人権教室の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「縦割り列車」・「人権教室」等、年間を通した取り組みを行う。 「ぼかぼかことば」を奨励し、一人一人を大切に育てる。

④ 心身の健康の促進を図る。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	健康教育や食育等の実践	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践を通して、健康な身体作りや意識向上を図る。 朝食喫食率100%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 命の学習、性教育の実践を行う。(講演会等) 学校栄養職員と連携して食教育の実践に取り組む。 保健衛生指導の充実を図る。(保健便り等) 体力づくりの充実を図る。(外遊びの奨励等)
	○教育相談	日常的な教育相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者、担任等のニーズに応じた教育相談環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 心のアンケートをもとに児童や保護者への教育相談的な対応を図る。 年3回の教育相談週間を設定する。 スクールカウンセラーの計画的活用を図り、関係機関につなぐ。

⑤ 児童の自治的・主体的活動の促進を図る。

教育活動	○主体的活動の推進	児童会活動等の活性化 当番活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 集会活動や委員会活動等で児童の自主性を育む工夫をする。 掃除を通して、奉仕的精神を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童集会、代表委員会などにおいて児童が計画運営できるようにする。 児童の考えを生かし、活動できる場を設定する。 掃除道具の使い方、掃除の仕方を指導する。
	○異年齢集団による活動の充実	縦割り班活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 異学年集団による仲間作りを通して、異年齢交流のよさを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠足・給食・遊び等の縦割り活動を計画的に実施し、内容の充実を図る。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
特定課題	○小学校低学年の学習環境の改善充実	学力の基礎基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習習慣を身につけさせる。 標準テスト等で90%以上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の約束5か条を身に付けさせる。 課題の提出を徹底させる。 個別指導の時間を授業内や授業後に持つようにする。
	○特別支援教育	特別支援を要する児童の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 課題を抱えた子どもに対する共通理解を深め、個に応じた指導・支援の充実を図る。 専門機関との連携を通して、指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回児童連絡協議会を開き情報を共有する。 児童の状況に応じてケース会議を行い、市児童センター等に相談し支援方法を学ぶ。 個人カルテを作成し、個に応じた指導・支援を継続する。

●は共通評価項目、○は独自評価項目